令和８年度　名古屋市立供米田中学校
くま中生の心得　Ver.１

（　　）の中は校訓です

自律・協力・礼節



○　自ら考え、正しい判断・行動ができるようにします。（自律）

○　みんなが安心・安全に学校生活を送るための行動をします。（協力）

○　困ったときは誰かに相談します。（協力）

○　さわやかなあいさつと丁寧な言葉で人と接します。（礼節）

年	組	氏名

Ⅰ　登校時

・自転車通学はやめましょう。
・通学路を通りましょう。
・8:30 に着席し、朝の活動が開始できるよう登校しましょう。

Ⅱ　放課

・　他クラスへの出入りはやめましょう。

Ⅲ　持ち物

１　リュックタイプのカバンを使用しましょう。
（色の指定はありません。責任をもって各自でふさわしいものを選びましょう。）サブバッグのみでの登校はしません。

２　学校生活に必要のないものは持ってこないようにしましょう。（例：携帯電話、お菓子、ゲーム、音楽機器）

３　水筒やペットボトルを持参しましょう。中身はお茶か水、または必要に応じてスポーツドリンクにしましょう。

Ⅳ　服装・頭髪・身だしなみ

１　服装について
制服を着用しましょう。
気温に合わせて防寒具で調整しましょう。
名札は制服の決められた位置（上着の左胸、上着を脱ぐ場合はシャツの左胸）に付けましょう。教室の名札入れで保管し、校内でのみ付けます。

２　頭髪・身だしなみについて
清潔感のある頭髪にしましょう。
パーマや染髪、脱色、整髪料の使用はやめましょう。
化粧はやめましょう。

３　靴について
ひも、マジックテープのついた運動靴（ローカット）を履きましょう。（色は白以外も可）
大雨や大雪の日は、長靴で登校してもよいです。
スリッパ、体育館シューズは指定のものを履きましょう。

４　靴下について
地味な色（公の場にふさわしい色）のものにしましょう。

服装について（ブレザー）

○　服装：制服を着用する

※　ブレザーは機能性が高く、気候や多様性に対応しているため、原則制服で登校する。

ズボン　＋　ベルト（黒）	スカート
・ズボンのすそは引きずらない長さでシングル、ダブルどちらも可	・長さの目安は立ってひざが隠れる長さ

②

白の**長袖** カッターシャツ	白の**長袖** ポロシャツ	白の半袖ポロシャツ （学校**指定**品）
・シャツのすそをズボンやスカートに入れる（ジャケットなしの場合でも入れる） ・第１ボタンは開けてもよい ・中に色や柄が表に透けないインナーを着用する		・シャツのすそをズボンやスカートに入れなくてもよいが、上にジャケットを着る場合はシャツのすそをズボンやスカートに入れる ・第１ボタンは開けてもよい

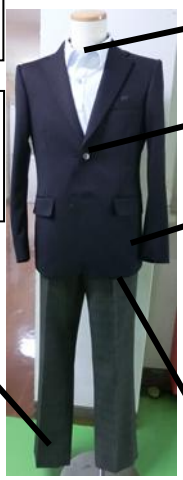
③

ジャケット
・酷暑期を除いた期間の式典、合唱コンクールなどの学校が指定した日は必ず持参し、着用する ・ジャケットは脱ぎ着してかまわない。必要がなければ持ってこなくてもよい ・ボタンは開けてもよいが、式典などではボタンを留める

ジャケットは脱ぎ着してよい

ジャケットの前合わせは各自で判断してよい

ズボンのすそは、引きずらない長さで、シングル、ダブルのどちらでも可



シャツの第１ボタンは開けてもよい

ジャケットのボタンは開けてもよい

シャツのすそは、ズボンやスカートに入れる

スカートは立ってひざが隠れる長さ

ズボンを着用する場合はベルトを着用する



酷暑期の服装について（５～１０月）

制服を着用する。しかし、ズボンとスカートの生地が厚いことから、

ポロシャツの下に**体操服のハーフパンツを着用することは認める**

朝昼の寒暖差やエアコン使用時の対策として、

ポロシャツの上に防寒具のカーディガンの着用も可





例）半袖のポロシャツ　＋　ハーフパンツ　の組み合わせも可

防寒具について

①ジャケットの下にセーターや
カーディガン、ベストを着用する





制服の一部であることを意識し、**安全でフォーマル**なものを選ぶ

②ジャケットの上からアウターを着る※

コートやウインドブレーカーなどが想定される。指定はない。

※　校舎内では適切な防寒対策をしましょう

◎マナーとして、建物に入る前にアウターは脱ぐことが一般的である。

これまではコロナ禍による換気のため、教室内でもアウターの着用を認めていた。

セーターやカーディガン、暖かいインナーなどを使用して工夫しましょう。

【その他の防寒具】	【注意点】
マフラー、ネックウォーマー	体育時は使用しない
手袋	屋内の体育では使用しない 屋外の体育時は体育の先生の指示に従う
タイツ、ストッキング	体育時は使用せず、必ず靴下を着用する
ひざかけ	自分の席でのみ使用する
カイロ	必ず自宅へ持ち帰る